

実現系可能文の日中対照研究
—対応表現に関する一考察—

魏 美平

A Constructive study of potential words
in Japanese and Chinese:
The study refers to corresponding representation

Wei Meiping

内容提要

汉语和日语中都有可能表现，但是汉语的可能表现会受到时态的影响。也就是说，在时间轴上汉语的可能表现受限制，而日语的可能用过去式「タ」形表现。那么，对于日语中的实现系可能，汉语是如何表现的呢？汉语中的可能补语「V不C」可以表现汉语的实现可能。日语的实现系可能和汉语的可能补语对应与否没有考察过。本文通过对照研究的方法考察日语的实现系可能对应的汉语表现。在汉语的对应表现中发现日语的实现系可能和汉语的可能补语「V不C」对应以外，还可以和「能」「结果补语」「趋向补语」「様態補語」「表实现・完了的“了”」对应。并且从句型，副词，还有句子的句式特点来看，日语的实现系可能否定句和汉语的可能补语「V不C」很相似。通过考察，可以看出有意志性的否定句句式中，日中的实现系可能的特征是差不多的。通过这样的考察笔者希望以后能将其运用在日语教育或汉语教育中。

目次

1. はじめに
2. 先行研究
3. 研究方法と目的
4. 考察の結果
5. おわりに

1. はじめに

現代日本語における可能表現は、アスペクトの立場から分類すれば、潜在系可能文（例文1）と実現系可能文（例文2）に分けられる¹⁾。

(1)私は難しい漢字でも書ける。

(2)今度の課題が難しく、1日かかってやっと書けた。

例文(1)の潜在系可能文は主語の「私」自身の恒常的能力が備わっていて、能力の可能実現を表す。例文(2)は主体の能力より出来事が実現の可能性があるかどうか、実現した事に重点を置いている。例(1)(2)を中国語に翻訳すると次の通りである。

(3)很难的汉字，我也会写。

(4)这次的课题很难，我花了一天的时间才写完。

翻訳から分かるように、例文(1)に対応している例文(3)も中国語の可能表現「会」に対応するが、例文(2)に対応する例文(4)の「写完」は結果補語²⁾であり、可能表現ではない。つまり、日本語の実現系可能文である例文(2)は中国語の可能表現に対応しないことが分かる。しかし、否定文の中には次のような例文もある。

(5) a. この字は一生懸命消そうとしたけれど消せなかった。『補語』

b. 这个字我涂了半天也没涂掉。

c. 这个字我涂了半天也涂不掉。

例文（5a）文に対して、例文（5b）の「結果補語」と例文（5c）の「可能補語」³⁾に対応する。例文（5c）のように動詞「涂」が2回出現する可能文について、張旺熹（1999）は中国語の実現系可能文であると主張している。日本語の実現系可能文が例文(2)と例文(4)のように対応する場合もあれば、例文(5)のように対応する場合も存在する。日本語の実現系可能文に対して、中国語ではどのような対応表現が見られるのか。この点について考察したい。

2. 先行研究

2.1 鈴木（1965）

鈴木（1965：279）は現代日本語動詞の実現系可能文と潜在系可能文について次のように分類している。

A. 可能性を表す場合（ポテンシャルな用法、時間軸上に局在しない用法）

可能動詞は、主体の属性を表す場合と、対象や状況の属性を表す場合がある。

- ① 能力としての可能性
- ② 特性としての可能性
- ③ 許可

B. 運動の実現を表す場合（アクチュアルな用法、時間軸上に局在する用法）

可能動詞の実現を表す用法には、意図したこと、期待したことの実現を表す場合と、そうでない実現を表す場合がある。後者のうち、人間の心のウゴキにかかわるものは、「自発」と言われてきた。

- ① 期待した運動・意図した運動の実現
- ② 期待・意図と関係のない変化の実現
- ③ 意図しなかった、こころのウゴキの実現（自発）

実現系可能文について渋谷（1993：15）は「実現系可能はその意味的特徴から一回的な動作の（非）実現について言及することが多く、ものとの動詞

の動作を失って、過去・現在にかかわりなく状態的な意味の様相を帯びる。」と述べている。高橋太郎（2003：110）は鈴木（1965）の分類を踏まえながら、[1] と [2] の違いを述べている。

[1] 期待した運動・意図した運動の実現

a 書けた人はだしてもいい。

[2] 期待・意図と関係のない変化の実現

b ボタンがとれた。

ここでの分類 [1] a は「一回性」「実現の状態性」と読める。一方で、分類 [2] b の「とれた」は、ただ動作が単純にできるかどうかには焦点を当てているのではなく、人との関係で、能力が備わっているならば、「ボタンがとれた」ことに焦点を当てている。しかし、可能表現であるのか、結果であるのか、どう扱うべきかを考える必要がある。高橋（2003）は、このような実現を表す可能表現に一つの用語で表していないが、「実現」を表す文の特徴を述べている。鈴木（1965）の分類③が「思う、感じる、偲ぶ」のような動詞の可能形「思われる、感じられる、偲ばれる」で表す。分類②と分類③に対する議論は様々であり、自発なのか、それとも分類③だけ自発なのかなどの疑義が存在する。

2.2 張旺熹（1999）

張（1999：137）は実現系可能文について、意味と形式から「1. 企望意的表現（意図を表す表現）」、「2. 原因意的表現（原因を表す表現）」、「3. 企望＋原因的表現（意図＋原因を表す表現）」の三種類に分けている（以下では中国語で三種類を示す）。この三種類についての特徴を下記のように纏めることができる。

1. 企望意的表現：主観的にある動作を行い、目的と望みを実現できない或いは実現できなかったことを表す。その形式の特徴が3種類に分けている。

- a) 「V」或いは「V」と相当する意味の動詞が前文と後文に二回現れる特徴。(例文6)
- b) 「願望動詞」を使う。例えば:「想, 愿, 担心, 怕, 生怕, 害怕, 恐怕, 试图, 只可惜, 怀疑, 思思念念」等。(例文7)
- c) 「V不C」⁴⁾と一緒に使用する文型や副詞がある。例えば:「怎么也, 谁都, 实在, 一点也, 哪个也, 连……也……, 根本, 终于, 无论如何, 什么都, 再也, 万一, 如果, 既然, 总也, 竟然, 往往, 一百个里也, 哪个也, 终究」等。(例文8)
- (6) a. 而就凭一把伞, 躲过一阵潇潇的冷雨, 也躲不过整个雨季。[張(1999)]
b. 傘一本だけでは、一時のどしゃぶりをしのげても、雨季をしのげるわけではない。(筆者訳)
- (7) a. 赵丹说出了我们一些人心里的话, 想说而说不出的话。[張(1999)]
b. 趙丹はわれわれが言いたいが、言えない事を言いだした。(筆者訳)
- (8) a. 正如妻在信上所说:“三天三夜也摆不完!” [張(1999)]
b. 妻が手紙に書いてあるとおり、三日間をかかっても並べて終わらない。[筆者訳]

例文(6)は「躲」という動作が前文と後文には二回現れ、傘一本だけでは雨季を耐えられないという意味を表している。例文(7)は望みを表す「想」を用い、願望を明確にしている。話したかったが、話せなかったことを表す。例文(8)の「V不C」は副詞「也」の文型と一緒に使われ、願望があったが、実現できなかったことを表現している。

2. 原因意的表現: 客観的な原因により、動作を実現しなかったことを表す。その形式の特徴は二つに分けられる。

- d.) 原因が前文にある。(例文9)
- e.) 「V不C」が「得」の後ろにある。(例文10)
- (9) a. 因为地方太穷苦, 前任区长收不起来款来被撤了职。[張(1999)]
b. 地方が貧しく、前代の区長がお金を納められなかったので、首に

なった。[筆者訳]

(10) a. 真静啊，静得我反倒睡不着了。[張 (1999)]

b. 本当に静かだ。返って眠れなくなってしまうた。[筆者訳]

例文(9)は原因が前文にあり、「貧しい」という客観的な原因で「納める」ことが実現できなかったことを表す。例文(10)の原因は「静」であり、「V不C」が「得」の後ろにあり、実現できない状態を表している。

3. 企望 + 原因的表现：願望と原因の両方が含まれ、実現できなかったことを表す。

f.) 望み・願望 + 原因の後ろに「V不C」が現れる。

(11) a. 我又吃力地走着，干渴疲乏，几乎拉不开双腿。[張 (1999)]

b. 私は懸命に歩いた、喉が渴き、疲労で、両足を動けないほどだった。[筆者訳]

例文(11)は「走」という意志があったが、喉の渴き、疲労が原因で、足を動かすことが困難であることを表している。

「1. 企望意的表現」、「2. 原因意的表現」、「3. 企望 + 原因的表现」を下記のような構文で表すことができる。

1. 「意図 + 実現できなかった」
2. 「原因 + 実現できなかった」
3. 「意図 + 原因 + 実現できなかった」

以上の内容は張 (1999) が述べているもので、中国語の例文は日本語実現系可能文の性質に近い。だが、日本語実現系可能文と「V不C」は対応するかどうかは張 (1999) で検証されていないため、考察する必要がある。

日本語実現系可能文に対応する中国語の対応表現の関係は何かあるのか。また、日本語実現系可能文に中国語実現系可能文が対応するの否かを明らかにしたい。

3. 研究資料と方法

本研究の研究対象は実現系可能文であるため、下記のような小説から抽出する。「できなくなった、可能表現+なくなった」を除いて、「できた」「可能動詞のタ形」「することができた」が入っている可能文を対象とする。

3.1 考察資料

- 1) 『ネ』：『ネイティブ中国語補語例解』陳文芷・陸世光（大修館書店）2008
- 2) 小説類
 1. 『ノ』：『ノルウェイの森（上）（下）』村上春樹著（講談社文庫）2004
 2. 『窓』：『窓際のトットちゃん』黒柳徹子著（講談社）1984
 3. 『1Q84（1）』：『1Q84（book I）』村上春樹著（新潮社）2009
 4. 『1Q84（2）』：『1Q84（book II）』村上春樹著（新潮社）2009
 5. 『海（上）』：『海辺のカフカ（上）』村上春樹著（新潮社）2002
 6. 『海（下）』：『海辺のカフカ（下）』村上春樹著（新潮社）2005
 7. 『中』：『中国行きのスロウ・ボード』村上春樹著（中央公論社）1997

3.2 研究方法

鈴木（1965）の実現系可能文の分類について「①期待した運動・意図した運動の実現」「②期待・意図と関係のない変化の実現」「③意図しなかった、こころのウゴキの実現（自発）」の3つの項目があるが、今回の考察は①と②を対象にして分析したい。③については異議があるため次回の機会で考察する。考察方法は次の通りである。

- 1) 日本語の小説と『ネイティブ中国語補語例解』から可能表現「タ形」を取り出し、先行研究の記述に基づいて実現系可能文を抽出する。
- 2) 実現系可能文を「意図・意志があるもの」「意図・意志がないもの」に分けてデータを整理する。
- 3) さらに、「1. 意図+実現できなかった」「2. 原因+実現できなかった」「3. 意図+原因+実現できなかった」の実現系可能文からそれぞれの

特徴を探す。

4. 考察結果

まず、日本語の実現系可能文を「文中に意図・意志があるもの」と「文中に意図・意志がないもの」という順で見えていく。

4.1 文中に意図・意志があるもの

この部分では意志性があり、実現した・しなかった文の特徴が見える。述語としてよく使われるが、修飾として使われているものは少ない。これらの実現系可能文の意味と特徴を次のように分析した。

4.1.1 文中に「ようやく、はっきり、すでに、やっと、全部、綺麗に、意外に、ついに」などの副詞がよく使われているもの。

- (12)うっかりして車が泥沼にはまってしまい、皆で懸命に押してやっと脱出できた。『ネ』
- (13)長いことかかってやっと問題をはっきりさせることができた。『ネ』
- (14)私は何年もかかってやっとこれら古代の銅銭を収集できた。『ネ』

例文(12)(13)(14)では、「車が泥沼にはまったこと」、「長い時間」「何年」などの不利なことにより、ある動作の実現を妨害している状況や背景を表し、実現した時点までの動作を実現させる意図があると思われる。文中に「うまく、すぐに、ようやく、はっきり、すでに、やっと、全部、よく、綺麗に、意外に、十分」などの副詞の出現により、実現した事柄は意志と係わりがあることを強めている。もし、これらの副詞を外すと意志性が弱くなる。例文(12)の「やっと」を消して、例文(15)を見てみよう。

- (15)うっかりして車が泥沼にはまってしまい、皆で懸命に押して脱出できた。
- (16)うっかりして車が泥沼にはまってしまい、皆で懸命に押して脱出した。

例文(15)の意志性が弱くなり、例文(16)に近い語感をもっている。「うまく、すぐに、ようやく、はっきり、すでに、やっと、全部、よく、綺麗に、意外に、十分」などの副詞が使われている文は肯定文に多いが、否定文も多い。

(17)うまく隠れられなかったので、彼に見つかった。『ネ』

(18)先生ははっきり聞き取れなかったので、私はもう一度繰り返した。

『ネ』

(19)その広告はしっかりくっついていて、どんなにはがそうとしても、綺麗にはがせなかった。『ネ』

実現しなかったことは前文にも後文にも置かれる。例文(17)(18)は不利な内容が提示されていないが、意図・意志の存在が動詞の可能表現から表されている。例文(19)は前文に不利な事があり、副詞の使用によって意志性をさらに強めている。このような意図・意志がある否定文が文型の中でもよく現れる。

4.1.2 文中に「あまり～ない。～ようとしたが、～。何も～。誰も～。何度も～ない。いつも～ない。どうしても～ない。～しか～ない。」などの文型がよく現れるもの。

(20)昨晚は一睡もできず、今日は授業中どうしても集中できなかった。『ネ』

(21)彼の唇はずっと震えていて、何も話せなかった。『ネ』

(22)この字は一生懸命消そうとしたけれど消せなかった。『ネ』

例文(20)～(22)の文型の出現により、努力したが実現しなかったことが現れやすい。文型の意味から意志性を強め、意図を達成できなかった。このような文型が使われていない場合には、意志性が弱くなる。この特徴は前節の副詞の存在と同じである。

4.1.3 前文に状況や原因により、実現した・しなかったもの。

(23)彼女はやり手なので、うまく対応できた。『ネ』

(24)彼は一晩中苦しんで、眠れなかった。『ネ』

(25)ボールの勢いがよすぎて、彼はキャッチできなかった。『ネ』

例文(23)~(25)の実現した・しなかったことは文中の状況・原因によって発生した結果である。肯定文の場合は実現した理由が有利な原因や状況である。もし理由が有利な原因や状況でないとすれば、実現しなかった可能性がある。この角度からみると、否定文の場合は前文に不利な原因や状況を表わすものが多く、不利な事によって意図・意志を達成しなかったことを表す。

4.1.4 動詞によって意図・意志があるもの

(26)私たちは楽しく問題なく協力することができた。『ネ』

(27)私が初めて理解できた日本語は、お正月に酒を飲みすぎないように。
『ネ』

例文(26)、例文(27)の「協力する」「理解する」は人間の行動で意志性が含まれている動詞であると思われる。「協力する」という動詞が一人でできることではなく、他人との交流を努力する必要がある、意志性がないと成り立たない事象である。「理解する」も同じく対象を知るように努力せずに実現できないものである。

4.2 文中に意図・意志がないもの

この節では、実現しようという意図・意志とは関係なく、出来事の結果やこの事実が結果として表れている。

4.2.1 意図・意志を表わしていないもの。

(28)彼はそこに着いてすぐ、親友が一人できた。『ネ』

(29)このところ新聞を読みたいという気持ちになれなかったんだ。

『1Q84(2)』

例文(28)(29)は目標に向かってその意図・意志が表わしていないと思われる。自然に起こった事柄である。例えば、例文(28)は「彼」がもしかしたら性格が

良くて、短期間で人と親友になったことは自然なことで、特に意図や意志などがあって友人を作ったというわけではない。また、例文(29)は読もうという意図・意志を表わしていない。読む気がないため、自然になった事柄を表す。

4.2.2 主語が現れず、結果だけを表すもの

(30)燃料をタイミングよく補充できた。『ネ』

(31)このドラマはうまく改編できた。『ネ』

例文(30)(31)の「補充」「改編」は明確に誰がやったのかを表していない。ここでは、ただ客観的な状態や性質を表す。例文(30)(31)の主語が物になっているが、「補充」も「改編」も人間の行いであるため、文脈の背景に動作主があるが、実現した結果を表している。

5. 中国語の実現系可能文

考察中、4.3.1 に述べている日本語の実現系可能文の特徴がある可能文に対して、中国語の対応表現はいくつかある。下記の例文で意志性を表す箇所を□で表し、文型や原因を表す箇所を~~~~で表す。以上の日本語の実現系可能文を中国語に対応する表現は何があるのかを考察し、結果としては次の表1に纏めた。

表1 日本語の実現系可能文と中国語の対応表現

日本語の実現系可能「タ」形	中国語
1) 期待した運動・意図した運動の実現	①能/会/可以+V/補語
	②可能補語
	③V+結果補語
	④V+趨向補語
	⑤実現・完了を表す“了”
2) 期待・意図と関係のない変化の実現	⑥様態補語
	⑦実現・完了を表す“了”

日本語の実現系可能文に対応する中国語の可能表現であるのは①番と②番

であり、特に②番の「V不C」構文が日本語の実現系可能文と類似している所が多いことが見られる。③番～⑦番までは中国語の可能表現ではない。これから表1の①番～⑦番までの対応表現を見ていく。

①能/会/可以+V/補語

「能/会/可以」の使い方は様々で、「能」は「達成」、「可以」は「許容」、「会」は「自発」のようにほぼ対応がみられる(黄1995:86)。今回の考察で「能」に対応するものが多いことがわかった。日本語の意志性がある実現系可能文に対応する。

(32) a. なるほど。君の気持ちはおおむね理解できたような気がする。

[[1Q84(1)]]

b. 原来如此。我觉得大致能理解你的心情。[[1Q84(1)]]

(33) a. 少なくとも天吾にはそれらしきものは聞き取れなかった。

[[1Q84(2)]]

b. “您听明白了吗?” 男人问。声音里不含任何感情。至少天吾没能听出类似的东西。[[1Q84(2)]]

(34) a. その原因はおそらく根深いものだった。しかしその結婚を阻止することは誰にもできなかった。[[1Q84(1)]]

b. 在老夫人眼里, 那个男人显然拥有扭曲的灵魂, 以前也引发过问题, 其原因恐怕根深蒂固。但是, 谁也未能阻止这场婚姻。[[1Q84(1)]]

(35) a. しかしどれだけそう自分に言い聞かせても、心の底から納得することができなかった。[[1Q84(2)]]

b. 但不论怎样努力说服自己, 她都不能由衷地信服。她就在刚才亲手杀了一个非同一般的人。[[1Q84(2)]]

例文(32a)の動詞自体が意志性を持ち、「理解できた」事象に意志の存在は含まれている。これに対して、例文(32b)の可能表現である「能」に対応する。また、否定文の場合も「能」で翻訳される。例文(33a)と例文(34a)の実現系可能文が文脈から意志性が強く、実現できなかったことを表す。対応するのは「能」の過去否定の形式「没能+V+補語」と「未能+V+補語」

であり、実行する意志があったが、能力と可能性が実現できなかったことを表す。「能」の否定形は一般的には「不能」を使うが、実現済みの場合には「没能+V」が使われる。例文(35)の「不能+V+補語」は「可能 不可能」を表す意味が含まれている。「不能+V」と「没能/未能+V」の違いは、「不能+V」が動作主の主観的な「不可能」を表し、「没能/未能+V」が客観的な条件で、実現できなかったことを表す。つまり、「不能」は「能力 可能性」を表す用法が一般的であるため、「能」は省略できない。「没能」の場合には客観的な結果として使われているので、「能」を省略しても、前文の意味は変わらない。小説の文脈によって、日本語の実現系可能を「不能」で翻訳したが、どのように翻訳するかは翻訳者の語感次第である。また、「可以」で翻訳している個所もあったが、小説の状況に合わせるという面もあるだろうが、日本語の実現系可能文の性質に合わないため、対応しないと判断する。

- (36) a. その時点でこっちも『先生、そいつはやばいですよ。ちょっと乗れませんね』と断ることもできた。[『1Q84(1)』]
b. 当时我们也可以拒绝：‘老师，这可有点危险。[《1Q84(1)》]

中国語の例文(36) b は「許可（許せる）」を表す「可以」が用いられている。道理上で「許容」を表すため、時間軸上に「断ることもできた」と「可以拒绝」のニュアンスが異なるため、対応しないと見られる。

② 可能補語

可能補語の例文がよく現れ、日本語の実現系可能文に対応すると思われる。

- (37) a. 直子はあなたに返事を書こうとずっと悪戦苦闘していたのだが、どうしても書きあげることができなかった。[『ノ（下）』]
b. 她写道，直子始终在为写回信而竭尽全力，但无论如何也写不出来。
[《挪》]

- (38) a. 彼女は大声で笑い出したくもあったし、同時に泣き出したくもあった。しかしそのどちらもできなかった。[『1Q84(2)』]
- b. 她很想放声大笑，同时又想放声大哭，但都做不到。[《1Q84(2)》]
- (39) a. どれだけ考えてみても、そこで自分が抱くであろう感情を、天吾はうまく探り当てられなかった。[『1Q84(2)』]
- b. 无论怎么思索，天吾也找不到这种情况下自己可能抱有的情感。
[《1Q84(2)》]
- (40) a. 会話の速い流れに青豆はついていくことができなかった。彼女は聞を置き、呼吸を整えた。[『1Q84(2)』]
- b. 交谈的速度过快，青豆跟不上了。她停顿了一下，调整呼吸。
[《1Q84(2)》]

例文(37)~(40)のaは[4.1]に述べた「文中に意図・意志があるもの」である。日本語の例文(37a)に使われている「どうしても」に対し、中国語の例文(37b)の「无论如何也+可能補語」が用いられ、困難的な実現を表す。翻訳された中国語の例文(38b)では一文に同じく1つの動詞を2回使う特徴があり、いずれも動作主が結果の達成を期待し、ある動作・行為を行ったが、望んだ通りにその結果が実現しなかったことを表している。例文(40b)は「交谈的速度过快」という原因が実現を妨げることになり、動作主である青豆の意図が実現しなかった。張旺熹(1999)が述べた「意図+原因+実現しなかった」構文の特徴aとcが例文に現れ、日本語の「実現系可能文」に対応するのではないかと考えられる。

③ V+ 結果補語

まず、日本語に対応する例文を見てみよう。

- (41) a. 私は懸命に押してしばらく流して、ようやく靴の泥を洗い落とせた。『ネ』
- b. 我冲了半天，才把鞋子上的泥冲掉。『ネ』
- (42) a. 私は何年もかかってやっとこれらの古代の銅銭を収集できた。
『ネ』

b. 我搜集了很多年才搜集到这些古代铜钱。『ネ』

(43) a. この七年間、私はそれを解明しようと自分なりに努めてきたが、結局手がかりひとつ掴めなかった。[『海（下）』]

b. 这七年间，我努力试图揭开真相，却连一丝线索也没抓住。《海》

(44) a. 夕食のあとで緑に手紙を書こうとしたが何度書きなおしてもうまく書けなかったので、結局直子に手紙を書くことにした。

[『ノ（下）』]

b. 晚饭后，想给绿子写信，但反复写了几次都没写好，最后给直子写了一封。[《挪》]

例文(41)(42)のaは日本語実現系可能文の過去形肯定文である。時間軸上から見ると、過去の特定の時間帯に一時的に発生した事柄である。いずれも意志を表す部分があり、決して容易にできることではない意味を表している。例文(41)(42)のb文から例文(41a)、(42a)と同じ特徴を持っていると考えられる。このような特徴は中国語の先行研究で述べた「意志+原因+実現した」構文で見られるが、日本語の実現系可能文に対して、中国語の可能補語以外に結果補語でも対応できるのではないと思われる。

否定文も同じである。中国語の例文(43b)と(44b)は「結果補語」であり、いずれも肯定文で述べた特徴が存在している。否定文にも前文と後文に同じ動詞が2回使われている。副詞と文型もよく用いられている日本語の実現系可能文に中国語の結果補語は対応する。

また、副詞の使用についても例文(41)~(44)aの通り、副詞「ようやく」、「やっと」は中国語の副詞の「才」に対応する。

④ V + 趨向補語

趨向補語が趨向を表すことだけでなく、動作の結果または目的の達成を表すこともある。今回の考察で日本語との対応は次の通りである。

(45) a. うっかりして車が泥沼にはまってしまい、皆で懸命に押してやっと脱出できた。『ネ』

- b. 一不小心，汽车陷进泥里去了，大家推了半天才推出来。『ネ』
- (46) a. 彼はカバンの中をしばらくかき回していたが、お金を取り出せなかった。『ネ』
- b. 他在书包里掏了半天也没掏出来钱来。『ネ』
- (47) a. 大型クレーン車を持ってきてやっとあの大きな石を吊り上げられた。『ネ』
- b. 开来一辆大吊车才把那块大石头吊起来。『ネ』
- (48) a. 彼の唇はずっと震えていて、何も話せなかった。『ネ』
- b. 他的嘴唇颤动了半天也没说出话来。『ネ』

例文(45a)の「懸命に押して」と例文(46a)の「かき回していた」は動作主の意志性を明示している。例文(47a)と例文(48a)の文脈にはなかったが、副詞「やっと」と文型「何も～」があって、意志性も鮮明である。中国語の例文(45)～(48)のb文では、いずれも方向を表す「起来」「出来」「下来」のような趨向補語で対応する。日本語の実現系可能文と同じく、過程で努力した意味、やり遂げた意味を表す。③番の結果補語と同じ一文に動詞を二回使っている例文が多く、文型や副詞「好容易才」「才」などもよく用いられる。この部分は結果補語と同じ性質で「実現」を表現していると思われる。

⑤ 実現・完了を表す“了”

相原(2005:214)は、動作の完了・実現は動詞の後ろにアスペクト・マーカ―の助動詞“了”をつけて表すと記述している。この部分の例文が⑦番の例文より少なく、意志性が存在している日本語の実現系可能文に対応している「了」のニュアンスと若干異なる。

- (49) a. そういう経緯で、私はその人と電話で直接話をすることができたわけ。[[1Q84(1)]]
- b. 就这样，我跟此人直接通了话。[[1Q84(1)]]

例文(49a)の文脈から意志性と意図性が含意しているが、中国語の「通了话」には努力して達成した意味が含まれていない。ただの完了した事象を

表す「了」である。従って、ここの「了」は日本語の実現系可能文に対応するかどうかは疑問である。

⑥ 様態補語

日本語の実現系可能文で「はやく」、「うまく」、「よく」などの副詞が動詞の前に現れ、実現したことを評価する場合、中国語の様態補語に対応する。日本語との対応は下記の通りである。

- (50) a. 彼女はやり手なので、うまく対応できた。[[『ネ』]
b. 她很能干，事情办得很漂亮。[[『ネ』]
(51) a. このドラマはうまく改編できた。[[『ネ』]
b. 这个电视剧改编得很成功。[[『ネ』]

例文(50/51)のa文は出来事を評価する意味が含まれている。この部分の日本語は次の2つの特徴が見られる。一つは、動詞の前に「を」が現れないことである。二つ目には、「はやく」、「うまく」、「よく」などの副詞が必ず動詞の前に出現し、事柄を評価することである。人を褒めるときに使う「よくできたね」や、「上手に書けたね」などの表現はよく使われる。例文(50/51)のb文も評価する意味が含まれている「好」「漂亮」「成功」「好」が「得」の後ろに付き、日本語の実現系可能文に対応する。結果補語と趨向補語の部分と比較してみると、様態補語の部分が困難な事態の実現というより、上手く遣り遂げたという意味の達成を評価することを表す。

⑦ 実現・完了を表す“了”

この部分の「了」が⑤番と異なり、日本語の実現系可能文に対応すると考えられる。

- (52) a. 無事におうちに帰れたかなと思って。[[『IQ84(1)』]
b. 我担心你是不是安全到了家。[[『IQ84(1)』]
(53) a. 新しいボーイ・フレンドができたのだ。[[『中』]
b. 有了新的男朋友。[[『去』]

例文(52/53)の a は難しい状況の実現や実現した後の評価などの達成よりも結果に着目していると感じられる。中国語の例文(52/53)の b では「実現・完了を表す“了”」もその出来事を表している。意志や期待が強いというニュアンスが現れていないため、中国語の「実現・完了を表す“了”」に対応すると考えられる。

6. おわりに

以上の分析から日本語の実現系可能文は意志性がある場合と意志性がない場合が存在していることが分った。中国語の対応表現は次のように纏める。

日本語の実現系可能「タ」形	中国語
1) 期待した運動・意図した運動の実現	①能 + V / 補語【会 / 可以に対応しない】
	②可能補語【中国語の実現系可能「V 不 C」に対応する】
	③ V + 結果補語【肯定も否定も対応する】
	④ V + 趨向補語【肯定も否定も対応する】
	⑤実現・完了を表す“了”?
2) 期待・意図と関係のない変化の実現	⑥様態補語【評価を表す場合に対応する】
	⑦実現・完了を表す“了”

「了」は実現・完了を表すが、日本語の実現系可能文に対応する場合と対応しない場合があるため、再考察する必要があると思われる。この点を含め、「実現」「完了」「結果」を表す意味の本質については次の機会に分析したい。

【注】

- 1) 実現系可能と潜在系可能のほかに、アクチュアルとポテンシャルと呼ばれる場合もある。
- 2) 結果補語：「～をした結果、～の状態になる」のように動作の結果を表すものである。その語形が「動詞 + 補語（方向動詞 / 形容詞 / 動詞）」である。
- 3) 可能補語：結果補語の真ん中に“得 / 不”を入れて、その動作の可能 / 不可能を表す。
- 4) V 不 C：V は動詞を、C は動詞あるいは形容詞を指す。

【例文出典】

- 陳文芷 / 陸世光主編 (2008) 『ネイティブ中国語補語例解』大修館書店
村上春樹著 (2004) 『ノルウェイの森(上)』講談社文庫
村上春樹著 (2004) 『ノルウェイの森(下)』講談社文庫
林少華 (2007) 《挪威的森林》上海译文出版社
黒柳徹子著 (1984) 『窓際のトットちゃん』講談社文庫
趙玉皎译 (2011) 《窗边的小豆豆》南海出版社
村上春樹著 (2009) 『1Q84 (book I)』新潮社
村上春樹著 (2009) 『1Q84 (book II)』新潮社
施小炜译 (2010) 《1Q84 (book I)》南海出版社
施小炜译 (2010) 《1Q84 (book II)》南海出版社
村上春樹著 (2002) 『海辺のカフカ(上)』新潮社
村上春樹著 (2005) 『海辺のカフカ(下)』新潮社
林少華译 (2007) 《海边的卡夫卡》上海译文出版社
村上春樹著 (1997) 『中国行きのスロウ・ボード』中央公論社
林少華译 (2008) 《去中国的小船》上海译文出版社

【参考文献】

- 相原茂他 (2005) 『中国語の文法書』同学社
黄麗華 (1995) 「中国語の可能表現「能」「可以」「会」」、『日本語研究』pp.78-87 東京都立大学
渋谷勝己 (1993) 「日本語可能表現の諸相と発展」『大阪大学文学部紀要』33(1), 大阪大学
鈴木重幸 (1965) 「現代日本語動詞のテンス」『ことばの研究』第2集 国立国語研究所
张旺熹 (1999) 「V 不 C 结构实现的语义条件」『汉语特殊句法的语义研究』pp.135-162 北京语言文化大学出版社
張威 (1998) 『結果可能表現の研究』くろしお出版
高橋太郎 [他著] (2003) 『日本語の文法』pp.110-114 ひつじ書房
望月圭子 (2009) 「中国語を母語とする上級日本語学習者によるヴォイスの誤用分析」『東京外国語大学論集』78, pp.461-471
山田留里子 (2008) 「可能補語一何を教えるか」『日本語と中国語の可能表現』pp.189-210, 白帝社
刘月华 (1989) 「可能補語用法的研究」『漢語語法論集』pp.1-28, 現代出版社